

X001

- T: はい、こんにちは、【T】です。
- I: にちは、【I】です。
- T: え、お名前もう一度お願いしま…
- I: 【I】です。
- T: 【I】さん。
- I: 【I】です。
- T: 【I】さんですね、はい {笑}, よろしくお願ひします、はい。
えー、【I】さん、お国はどちらですか？
- I: ブラジルです。
- T: ブラジルですか、はい。
あの、えー、日本に来てどれぐらいになるんですか？
- I: んっと、10年になります。
- T: あー、そうですか。
で、今は、えー、学生さんですか？
- I: そうです。
- T: そうですか。
ちょっとその辺、教えていただけますか？
えーと、大学生で〈はい〉、はい、えー、専攻とかちょっと教えてください。
- I: 大学生で、まあ、国際学部っていうコース、学科にいまして〈はい〉、で、そこで、いろいろ語学とか〈はい〉、勉強とか、したりしてます。
- T: あー、そうですか〈はい〉。
はい、はい、えー、国際学部？
- I: はい。
- T: ふーん。
それは選んだ理由は、どん、どんなところにあるんですか？
- I: あー、将来的にもなんか、そういう関係の仕事に就けたらと思って〈うん〉、いろいろ勉強したいなと思って、語学とか…
- T: はー、あ、そうですか。
そういうっていうのは、特にもうちょっとそのへんを、はい。
- I: ***、今、バイトとかでも、翻訳のバイトとかしたりして、将来とかにもそういう、だ、関係の仕事に就けたらと思って〈ふーん〉、語学が、結構あるので〈うん〉、勉強したいなと思って。
- T: あー、そうですか。
と、国際的っていうのは、やっぱりブラジルとということですか？
- I: そうですね。
- T: うーん、、、、はー。
わかりました。
えっと、ブラジルは広いですけど、ど、どこのご出身でしょう？
- I: おー、【地名1】。
- T: そうですか
- I: はい。
- T: はーはーはー。
えっと、わたしは遠くて、あの、行ったことないですけど、【地名1】は、どんなところ、ちょっと教えてください。
- I: どんなところ？
- T: まあ、あの、10年前だから〈はい〉、いいですよ、うん。
それからもう、行ってないですか？
- I: 行ってないですね、それっきり、はい。
- T: あ、なるほどね、わかりました、はい。
で、あの、ここまで、あの、いらっしゃるお住まいから、あの、お住まいは近くですか、この？
- I: そうですね〈はい〉。

X001

5, 10分くらい着きます(10分), お, 自転車で。

T: あー, そうですか, じゃー, ずっと, この, に【地名2】に, お住まい…

I: そうですね。

T: ですか。

はい, 【地名2】ってわたし, まだ2回目なんですけど, あの, どんな街というか, 特徴は, な, 街なんでしょう?。

少し教えていただけますか?。

I: うーん, やっぱ外国人が多いですね(うーん)。

びっくりし, するぐらい, (はいはい, ええ), 学校でも多くて(うん), さんいんだから, 苦労はそこまでしませんしね。

T: あ, そうですか。

I: はい。

T: あ, あの, 日系の方が多いですよね。

I: 多いですね。

それは, どういう理由でこう, みなさん集まっていらっしゃったんでしょうね。

I: *でしょうね(はい)…

T: 例えば, なんか工場があるとか。

I: そうですね, 工場とか(はい), やっぱり親戚が親戚を呼んだりとか, 住みやすいから(あー), どんどん集まったりして, あと, うん, ブラジルのお店とかも多いんで, それに(うんうんうん)集まったりするんじゃないかなと思って。

T: そうですか(はい)。

で, 【地名2】っていうか, もうちょっと広げてみて, あの【地名3】とか, こうね, このあたり, この, 【地名4】のこの辺は, えー, 自然もあってすごくいいですよ。

I: はい。

T: あの, よくいろんなところいらっしゃるんですか?。

山だとか?。

I: いや, {笑}(ふーん), そこまで出かけないですね(ふーん){笑}。

T: そうですか。

で, 今さっきね, あの, 【地名2】はいろんな, あの, まあ, 周りにいらしてて楽だと仰ったんですけど, 外国人が, こう, いろんなところに散って住むという, 日本人と一緒に住む, そうすと, まあ, いろいろね, また違う世界も開ける。

逆に同じように, こう, 集まって, 集住と言いますけどねえ, 集まって暮らすと両方ありますよね。

【I】, 【I】さんにはどう, どちらがやはりいいと思われませんか?。

I: いや, どっちもいい面もあるけど(ええ), まー, その悪い面もあって(ええ), なんか, その, うるさくなったりとか…

T: え?。

I: あ, 集まったりとかすると(はい), やっぱりうるさくなったりとか(はい), 近所に迷惑とか, けっこう(ええ), あったりするんで(はー)。

とんで, 自分で引っ越しとかしようとしたら, なんか, そういう, 外国人のかたお断りですみたいなホテルもあるんで(はいはい), それも不便ですね。

T: あ, あの, ばらばら(それ)に住んでいると(はい)。

I: いや, 一緒に住んでると。

集まって住んでると(はー, はー), そういう…

T: 逆にですか?。

I: はい。

T: はー。

I: なんか, 周りの日本人のかたが {笑}, 迷惑かけるみたいな。

T: はーはーはー。

そしたらもっともっと日本人と, こう, 集まっても, 近くの日本人と融合しよう, 一緒に, こう, 交わろう, というふうには, えー, していったらどうですか?。

X001

- I : そうですね, はい。
- T : え, その辺りどうですか?
国際学部で学ぶ, はい, 学生としては, はい。
- I : え?。
- T : うん。
もっともっと, もう交わるように, それぞれがりよ, 両者で思っていたらいいんじゃないか, と思うんですけどねえ。
- I : あー, はい。
- T : はい。
- I : そうですね。
あ, なんだろう..., えー {笑}, 〈うん〉..., 〈はい〉..., えー 〈うん〉, みんな, なん, なんて言えばいいんだろう。
- T : はい, 例えば, はい, どうぞ, 意見を, はい {笑}。
- I : もっと, なんか, こういう, 共存みたいなこと…
- T : うん, していくような方法を, 若い人が考えていったらいいじゃないですか。
- I : あー, はい。
- T : えー, どうですかねえ?。
- I : やっぱ, 学校からとかですね, 子ども 〈はい〉, 学校とか 〈はい〉 でも..., そういう 〈うん〉, 学校とか会社とかその集団の中で, やっぱ, 分けないで 〈うんうん〉, 一緒に共存して, やったほうが 〈うん〉, 助け合っってやったほうが, いいと思うんですよ。
- T : あー, 分けないで, 一緒にね。
- I : そうですね。
- T : はい。
だけど, やっぱりこう集まっていると…
- I : まー, 自然とそうなっちゃうんですけど…
- T : ですよ。
- I : まー, そこを 〈はい〉, まー, だから, 両方とも 〈はい〉 できる人間がその中間に入って 〈ふーん〉, 両方和解するというか 〈うんうん, うん〉, あの 〈うん〉, 柱になるというか 〈はいはいはいはい〉, がいいですね。
- T : 柱になる 〈はい〉 ^ ような形があればいい 〈はい〉 っていうことですか。
はい, なるほどね。
あの一, 趣味は何ですか?
- I : 趣味は, 趣味は, あー, 体を動かすことですね {笑}。
- T : あー, そうですか。
っていうことは, スポーツ?。
- I : スポーツとか 〈はい〉, はい, 筋トレだったりとか 〈はい〉, まー, そんな感じ。
- T : ふーん, 特に好きなスポーツってなんですか?。
- I : サッカーとかやったりしますけど, はい。
- T : サッカーですか, ふーん。
サッカーね。
あの一, やっぱりブラジルのサッカーと日本のサッカーって, ずいぶん違いますか?
その…
- I : あー。
- T : はい。
- I : そうですね。
やっぱ日本は 〈はい〉, あと, なんだろう, あんまり自分勝手には 〈うん〉, し, しちゃダメというか 〈うん〉, もっとチームプレイで 〈はい〉, それが大事, まー, それも大事ですけど 〈はい〉, もっと, なんか, 自分だけ目立ってやろうと 〈うん〉 すると 〈うん〉, あとで怒られたりとかします 〈うんうんうん〉。
逆にブラジルだと, まー, そこまで言われないというか 〈うん〉。
- T : もっと自由だっていうことですか?。
- I : もっと自由というか, はい 〈うんうん〉, 日本のほうだともっとチーム全体で 〈うん〉, 一緒に協力してや

X001

るみたいな。

T: うーん。

と、あの、確かにね、日本はチームプレイ、全てね〈そうです〉、和が大事とか〈はい〉、集団、えー、そういうのと、もっともっと個人が、あの一、たとえスタンドプレイになっても、この、個人の力を発揮させるといふほうがいいとていう教育と、いろいろありますよね、2つ〈はい〉。

えー、【I】さんどっちがいいと思われませんか？。

I: はい、、、 どうしよう〈うーん〉。

協力して、あうのも〈うん〉、いいと思う^ですけども〈はい〉、個人のほうも良ければそっちの、なんだから、うーん〈うんうんうん〉、うーん、、、 伸ばすっていうか、何だろう？。

T: あ、何を伸ばすんですか？。

I: え、その、個人の〈うん〉、あの、得意としているものを〈はい〉伸ばすっていうか〈うん〉、うん〈うん、うん〉、なんだろう〈うん〉、、、 うーん〈はい〉。

T: 個人の力を伸ばす教育。

I: 教育、そうですね〈はい〉。

T: が、大切だっということですね。

I: 大切、大切ね〈はい〉。

でも〈ええ〉、そればかりは、ちょっと、まあ〈うーん〉、他の〈うーん〉、の、そのできる子に合わせちゃうと、他の〈はい〉、この、下げたりしますんで、ほんとは…

T: そうですね。

そうすると日本のように、割と、こう、和をもって、みんなでやる〈った方が〉うって方がいいですか？。

I: そうですね、どっちかというと、はい。

T: でもそうすると、この変化の激しいね〈{笑}〉、あの技術的な問題もあつたり、ちょっと国際的には大変ですよ。

日本は、こう、みんな一緒に、手繋いでっていうのは、ちょっと問題かなあつて思うんですけども。

I: はい、、、。

T: どうですか、その辺りは？。

I: うーん、、、。

T: はい、あの一、えー、ちょっと話は変わるんですけど、まー、体を動かすことが好き〈はい〉。

でも、あの、ドラマとかもテレビでよく見ますか？。

I: ドラマは、たまに、はい、見ますが。

T: 見ますか。

今まで面白かったなっていうドラマって何ですか？。

I: あれー、{ブレス}なんだ〈うん〉、こう、高校生時の、あの、『ウォーターボーイズ』とか…

T: あー〈はい〉、ちょっと、そのストーリー教えていただけますか？。

I: ストーリーですか？。

T: ええ。

I: シ、シンクロの〈うん〉、話で〈はい〉…

T: ちょっと詳しく教えてください。

I: シンクロの話で〈はい〉、シンクロは女性がやる〈ええ〉ってイメージじゃないですか〈はい〉、せ、せ、世間的には〈うん〉。

だけど、それを男子の子がやろうとして〈うん〉、その学校にはもちろんないんですね、それ〈うん〉、そういう部活動は〈うん〉。

で、それで仲間を集めたりして〈うんうん〉。

最初はみんなからも、なんか、駄目みたいなこと言われたりしますけど〈うん〉、まあ、のちのち、なんか〈うん〉、集まったりして、仲間〈うん〉が。

それでどんどん大きくなって〈うん〉、最後には文化^祭とかで発表して〈うん〉、大成功^みたいな感じで、はい。

T: ふーん。

どんな点が特におも、あの、あー、感動的っていうか、良かったなと思われたんですか？。

I: {笑}〈ふーん〉、えー、なんか〈うん〉、見てて楽しいっていうか〈うん〉、うん、その、なんか、自分たち

X001

で、なんか、努力して〈うん〉、なにかを、物を作って〈うん〉、大成功するみたいな〈うーん〉、その、その中の苦労とか見せたりして〈うーん〉、その、なんていうの、共感とかしたけど、まあ〈あー〉、はい。

T: なるほどね。

で、あの一、え一、そういうね、いいテレビドラマもたくさんありますけど〈はい〉、暴力的なね、あの一、映画、あの一、ごめんなさい、映画ももちろん、あの一、テレビで出した、放映したりとかいろいろなことがりますよね。

え一、それで小学校とか中学校で問題が起こったりとか、その辺はどう思いますか？。

もうちょっと日本のテレビは、っていうような面はありませんか？。

I: そうですね〈うん〉。

アニメとかだと〈うん〉、あんまり見ないですけどね〈うん〉、たまに見ると、ま一、漫画とかもそうですが、暴力は結構あって〈うん〉、血とか流れたり〈はい〉、結構〈はい〉、そういうシーンはあるんで〈はい〉、それも、自然と見ていったりとか〈うんうん〉。

あと、学校とかでも、こっち来てびっくりしたのは、みんな普通に死ねというか〈あ〉、そういう言葉を平気で言うんで、それほんとに〈うーん〉、あ一、あ、正直ひきましたね、それは。

T: え？。

I: 死ねとか〈はいはいはいはい〉、そんな重い言葉を〈うん〉平気で言うんで〈うーん〉、びっくりしましたね。

T: うーん、あの一、テレビの〈テレビの〉ね、中で。

実際でもやっぱ聞いたことありますか、中学高校で？。

I: あ一、そうですね、きい、中学校とかでは。

T: うーん、なるほどね。

そうですね。

そうするとやっぱ、あの一、テレビの影響って大きいと。

I: 大きいと思います、はい。

T: なるほどね、もし【I】さんが{笑}、あの一、そういうね、あの一、なんでしょう、今、日本の文科省みたいなありますよね〈はい〉。

教育を少し考えるっていうね、あの一、その文科省の中の役人だったら、どんなことをどんなふうにテレビについてアドバイスしますか、テレビの内容について？。

I: あ一、、、、そうですね〈うん〉、まあ〈うん〉、そ、そう、うーん〈うん〉、、、、やっぱ、できるだけ、その、暴言とかを〈うん〉外したりとかをして〈うん〉。

あと、やっぱ、血なが、血が流れるシーン〈うん〉とかは、アニメとかだと、な、なんか、消してとか、消した…

T: 消すように。

I: 消すように。

T: 注意をする。

I: とか…

T: どうやってやるんですか、具体的には？。

I: どうやって〈うん〉、それは、なんか、やっぱ、アメリカとかが、なんか、それは、日本のアニメって、そう海外にも行くじゃないですか、それで〈うん〉、あっちのものを見たことあるんですけど、そういう血とかも、殴られて血の、とか、流れるシーンは〈うん〉、消えたりとかしてますね〈うーん〉。

その、殴られて血が出るときは〈あ〉、その〈あ〉血は消されてて〈は一は一〉、ですね。

T: ように、あの指示をすると。

I: はい。

T: は一は一、なるほど。

うーん、でもねえ、つつい〈まあ、そういう〉商業ベースでねえ{笑}、はい〈ああ〉、ですよ。

で、あの一、うん、はい、まだ、で、意見ありますか？。

I: いや。

T: そんなところですか〈はい{笑}〉。

ね、で、最近のテレビっていえば、もう餃子の、毒入り餃子の話ばかりですよ。

あれは見てますか{笑}？。

X001

- I : あ, はい {笑}。
T : うん。
I : 最近, はい。
T : あれについてはどう思いますか, な, 何が原因でしょうねえ, まだわからないんですけども。
I : あれは〈うん〉, 中国側も〈うん〉試験さしたけど, それで, 何も異常はないということで, 今日, 今朝見たら〈はい〉, なんか, 少数派の, なんか, 日本か中国かわからないけど〈はい〉, わざと入れた可能性もあるということで, 少数派分子とか言ってましたけど〈ほーほーほー〉, テロの可能性もあるのかと…
T : ということですか?
I : はい。
T : はー。
あれについてはどうお考えですか?
あの…
I : はい, やっぱり, 何だろう, 日中関係がまた〈うん〉それ[^]で悪くなったりとか[^]する可能性もあるなっ
て思っ
T : そうですね。
だけどわたし, あのー, それは確かに国際的なね, あの, 一つの問題ですけど, よくよく考えたら日本人
が食事を外に全て求めるっていう, あの, なんていうんでしょう〈はい〉, 全てじゃないですけど, 手作りは
しないで, もう, 何でも冷凍冷凍〈輸入〉ってなってきたる〈はい〉, その食生活をもう一度見直すべきじゃ
ないかなあと思うんですけども, どうですか?
I : そうですね〈うーん〉, 弁当とかでもほとんどが冷凍食品だったりとか, 家庭の味がないみたいなこと
すよ
T : ですよ。
いわゆるおふくろの味とか〈そうですね〉, ないですよね〈そうですね〉。
わたし, そこに問題があるんじゃないかなと思うんですけどね〈そうですね〉。
どうですか?
I : そうですね。
それも良くないと思うんですけど, まあ, 確かに忙しいんですけど〈うん〉まあ, そこは〈うん〉, ま, せ
めて, 冷凍食品だけで, かたするんじゃないかと〈うん〉, 一品ぐらいいは…
T : 一品ぐらいいは {笑}, 自分で…
I : 自分で…
T : 母親なり自分で…
I : はい, はい。
T : ところで, あの, 料理は作ることがたまにありますか?
I : 料理は, あんま作らないですね〈うん〉…
T : あんまりだけど, 作ることもある。
I : つく, はい, あ, 親が, たまに働いてたりとかすると〈はーはーはー〉, ま, なんかしら作って…
T : なんかしらね〈{笑}〉。
ちょっと得意料理って何ですか?
一つだけ。
I : 得意料理〈うん〉, 得意料理は, {ブレス}, 得意料理はないですね {笑}。
T : ない?。
I : 卵焼きですね。
T : 卵焼き?。
ちょっと…
I : いや, 別に。
T : え?。
I : うまくはないですね。
得意料理は…
T : ブラジル料理で, 何かありませんか?。
I : あ, ブラジル料理は作れないですね。

X001

T: あー…

I: でも作ってみたいな、料理は作ってみたいと思いますけど。

T: うーん、卵焼きは、なんか得意そうなんですね {笑}。

そうですか。

I: それはみんな誰でもね、はい {笑}。

T: {笑} そうですね。

あまりやらない。

I: そうですね。

T: うーん、そうですね。

本当にね、その食生活はね、あの、確かに、大きなね、問題ですよ。

ですか。

で、あの、さっき、あの、えー、国際学部で、将来とおっしゃったんですけど、その選んだ、まー、理由としては、将来そういう仕事をしたい。

I: はい。

T: ですか。

えー、もうちょっとそこを、さっきちょっと教えてくださったんですけど、その、えー、学んだこと、まあ、ブラジルとの貿易のようなことですか？

どんなことが一番、や、やれたらいいなと思っているんですか？

まあ、夢というか。

I: ゆ、そうですね。

まず、最初は来たときは、日本、高校行った時も、もうすぐ高校卒業して会社で働こうと思ったんですけど、まあ、高校にいる間に、ここの、学校で***ボランティアで日本語とか教えたりして〈うん〉、まあ、そういう、日本語、なんか、必要としている人がいるんだなあってのを知って〈はい〉。

あと、バイトとかでも翻訳とかも始めて、結構そういうのも多くて〈うん〉、やっぱ、そういうの、人の力になればいいなと思って〈うん〉。

大学に行って、その、また勉強して〈うん〉、語学をもっと流暢に両方とも話せるようにしたいなと思って、そこに、選んで〈うん〉。

で、将来的にはそういう〈はい〉困っている人の翻訳だったり、通訳したりとか、あの、ボランティアでまた日本語の教えられたらとか、思って。

T: あー、なるほどね。

I: はい。

T: そういう会社を作る。

I: 会社、はい、そういう時には、もう、将来は、はい、自分でなんか〈うん〉立ち上げて〈うーん〉、できればなと思って。

T: 懸け橋になるっていうことですか？

I: そうですね。

T: 【I】さんの考えだと、もっともっとブラジルから人が来たほうがいい、と思い、お思いですか？

I: そうですね〈はい〉、あっちの***生活いいんですけど、子どもからすれば〈うん〉、あんま自由がないっていうか。

T: うん？

I: 自由がないんですかね、あっちだと。

T: どこですか？

I: ブラジルだと。

T: ほう。

I: まあ、自分が住んでたところもそうなんですけども、

T: ブラ…

I: 子どもたちだけで、ああ、公園で遊んだりとかは、自分とかは、あんま親がダメって言ってました。

もう、そういう結構、なんか〈うん〉、親と出かけてても、何か強盗にあったりとかも、そういうのもあって。

T: うんうんうん、治安の問題ですね…

X001

- I : 治安の問題ですね。
治安が悪いんで〈はい〉危ないんですね。
- T : なるほど、じゃ、から、ブラジルの人たち、特に日系の人が〈はい〉もっと幸せに暮らすには、日本に来ることがいいということですね。
- I : いいですよ、はい。
- T : そのためには、もうちょっと日本が開放的になるべきでは〈はい〉ないですか、どうですか？。
- I : はい、そうですね、でもやっぱり、まー、日本も〈うーん〉、怒ったりしてるのは、そういうこと、悪いことをする人がいるんで、まー、そうなっちゃうのも仕方ないと思うんですけど〈うーん〉、やっぱり、はい。
- T : でも、それは個人の問題だから〈そうですね〉もっと日本は、えー、それをサポートというか〈はい〉、あの、ね、人も少子高齢化だし〈はい〉っていうんだったら、その、あれを作るべきじゃないですかね〈そう〉。
- そういううけ、あの、住みやすい社会〈そうですね〉。
それにはどんなことをするのが一番、というかもっともっと、するべき事って何でしょうかね、日本が取り組むべきこと？。
- I : うーん、あー、、、、なんだろう〈うん〉、、、。
- T : どんなことですか？。
- I : そう〈うん〉、、、、うーん〈うん〉、、、、ここだと【地名2】とかだと多いんですけど〈はい〉、役場とか行っても、なんかいろいろ手続きとかしないといけないじゃないですか、住むと〈うん〉。
それで、なんか、ま、翻訳の紙が置いてあったりとか〈うん〉、ま、そこに、あの、通訳してる人とかも働いてたりして〈はい〉、まあ〈うん〉、そういうところ〈うん〉見習えばいいなと思って。
- T : うん、でもそれは〈やっぱ〉、確かに大事なんですけど〈はい〉、人々の気持ちが変わらないと〈そうですね〉、考え方が、と、私は思うんですけど、どうでしょう？。
- I : そう、考え方は、、、、やっぱ、なん、もっと、テレビでとかで、そういう〈うん〉、もっといいイメージを〈うん、うんうん〉流したほうがいいかなと思って。
やっぱり悪いものしか、ピックアップされないじゃないですか〈はい〉。
それで今、イメージが下がったりとかして〈はい〉。
やっぱ、いい部分もあるんで〈はい〉、そういうところも見せたり〈うーん〉してったら。
- T : マスコミの問題ですかね。
- I : マスコミですね、はい。
- T : はい。
- I : マスコミも、はい、あると思います。
- T : 日本のね〈はい〉。
マスコミの問題ですね。
- I : はい。
- T : はい、と、マスコミはどんなふうに動けばいいんですかね。
ほんとにマイナスの暗い部分ばかりで、どんなことでも流しやすいですよ、日本はね〈はい〉。
うーん。
- I : そうですね、うーん、、、、と、もっと〈うん〉、プラスになるイメージで、何だろうな〈うん〉、、、。
- T : 何でしょう？。
- I : うん、、、。
その国のいいところとか〈うんうん〉見せたりとか〈うん〉、ここでも頑張っている姿とかを〈はい〉、見れば、変わるんじゃないかなって。
- T : そうですね。
あとはとにかく、まあ、せ、接触することですね。
- I : そうですね。
- T : はい、ありがとうございました。
いろいろ、あの伺って。
ちょっとここでロールプレイをしたいんですけど〈はい〉、あのいいですか？。
- I : はい。
- T : あの、ロールプレイしたことあります？。

X001

- I : あ, ないです。
T : ないですか。
えと, ちょっとこれ読んでみてください。
I : はい。
T : 声を出して読んでください。
I : 友人にお金を貸してくださいと頼まれました。
大変親しい友人ですが, 断ってください。
T : ですか, 大学生だから頼まれることもあるかもしれ, ありました？
I : は, はい。
T : たまにね。
はい, じゃあ, あの, わたしは, あの, ちょっとね, 年齢はあれですけど大学の友達ね 〈はい〉, いいですか？。
I : はい。
T : とっても仲のいい友達。
I : はい。
T : で 〈笑〉, でも, あの, 断ってくださいね。
いいですか？。
I : はい。
T : いいですか。
えーと, 【I (姓)】なにさんだったっけ？。
I : と, 【I (名)】。
T : 【I (名)】。
【I】くん, ちょっとね, あたし, あの, どうしても今, 買いたい本があって, えっと, 15000円な
んだけど, ちょっと, その, 他にもあれだから20000円貸してくれるとそれが買えるのね。
そ, それ, だから, {ブレス}, 来週返すから貸してくれない？。
I : {ブレス}, いや, もう, 今も自分も, 困ってるから, ちょっと, そこは無理だなあ。
T : 困ってるって 〈うーん〉 一週間でいいんだけど。
I : いやー, 1週間はいろいろしなくちゃいけないんで…
T : え, バイトのお金入ったんじゃないの, 先週。
I : いや, でも, やっぱ,,, {笑}。
T : え？。
I : そ, 困ってるから。
T : え, なに困ってるの教えて？
I : ちょっと, 自分もお金も, ちょっと, ないんで, 今は, はい。
T : ない。
I : はい, ちょっと, ないんで, はい。
T : じゃ, どれくらいだったら貸してもらえる？。
I : お金？。
T : うん。
I : いや, でも 〈うん〉, {笑}, えー。
T : 駄目？。
I : はい {笑}, ちょっと, 今回は, はい。
T : 全然駄目？。
I : はい。
T : じゃ, どうしたらいいかな, あたし, 困ったなー。
I : まあ 〈うん〉, 他の子に {笑} 〈うん〉, あの子に行けば, たぶん貸してくれるよ。
T : だれ？
I : あの一, ま, あの, あの子。
T : ほんと, 貸してくれる？。
I : はい。

X001

- T : 分かった。
じゃあ、いい。
ありがとう。
ごめんね、こんなこと聞いて、はい。
- I : はい。
- T : はい、ええ、こういう経験ってありますか？
たまにあるって、さっき仰ったけど。
- I : はい。
- T : 貸しちゃいますか？
- I : いや、もうそこまでの金額じゃないんで。
- T : 貸しちゃう？
- I : そう、500円とか、そういうの、300円とか、もう、そういう…
- T : ああ、わかりま {笑} 〈です、です〉。
そうするとやっぱり20000円ってのは大きいから 〈そうですね〉、貸さない。
ふーん、そういうことはお互いに言わない。
- I : はい、そう、きか、言われたことないですね。
- T : そうですか、はい。
えっと、今日はこれから、今5時ですけど、どうなさいますか？
- I : これからバイト^します、はい。
- T : 間に合いますか、大丈夫ですか？
- I : はい、大丈夫…
- T : 大丈夫ですか、はい、どうもありがとうございました。
- I : ありがとうございます。